

2017年3月期
(2016年度)

決算説明会

2017年4月28日
株式会社リコー



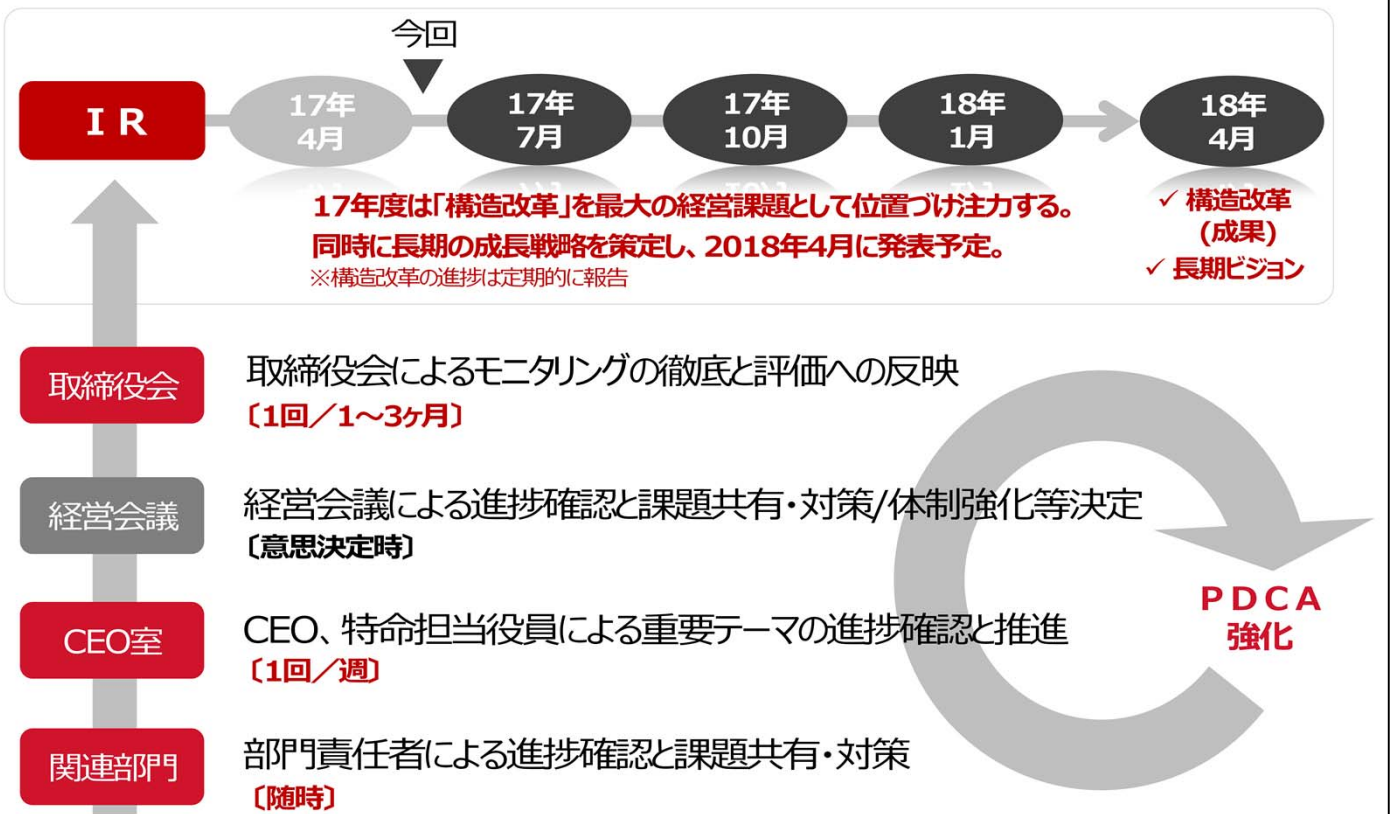
本資料に記載されている、リコー（以下、当社）現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

従って、実際の業績はこれらと異なる結果となる場合がありますので、これら業績見通しにのみ全面的に依拠なされないようお願い致します。

実際の業績に影響を与える重要な要素には、a) 当社の事業領域を取り巻く経済情勢、景気動向、b) 為替レートの変動、c) 当社の事業領域に関連して発生する急速な技術革新、d) 激しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品・サービスを当社が設計・開発・生産し続ける能力、などが含まれます。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。（参照：「事業等のリスク」<http://jp.ricoh.com/IR/risk.html>）

本資料に他の会社・機関等の名称が掲載されている場合といえども、これらの会社・機関等の利用を当社が推奨するものではありません。

本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。
投資に関するご決定は、ご自身のご判断において行うようお願い致します。



- 2017年3月期通期決算につきましてご説明いたします。
- このチャートは、4/12に山下社長から、19次中計「リコー再起動」をご説明させていただいた際に示した、構造改革の取り組みに関するマネジメントの進め方とその開示のマイルストーンのチャートです。
- 今年度は四半期ごとを目安に、構造改革の進捗をお示したいと話しましたが、本日は決算の説明をさせていただきます。

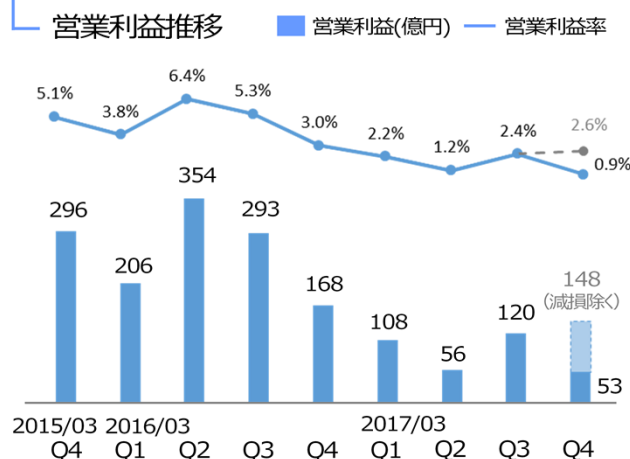
- ✓ 売上高:2兆288億円 (前年比:▲8%)
成長領域の産業分野と、その他分野は堅調に推移したが、
画像&ソリューション分野の減収と為替影響により減収
- ✓ 営業利益:338億円 (前年比:▲67%)
為替影響、構造改革費用、減員費用、インド関連費用の
影響により減益
- ✓ 株主に帰属する当期利益:34億円 (前年比:▲94%)
- ✓ 4月11日に開示した見通しに対して上振れて着地
- ✓ 2018年3月期(2017年度)通期見通し
売上高:2兆円 (前年比:▲1%)
営業利益:180億円 (前年比:▲47%) 構造改革費用450億円含む
株主に帰属する当期利益:30億円 (前年比:▲14%)

	FY2017/03 通期実績	前年同期比
売上高	20,288億円	▲8.2%
営業利益	338億円	▲66.9%
営業利益率	1.7%	▲2.9pt
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	34億円	▲94.5%
EPS	4.81円	▲82.06円
ROE	0.3%	▲5.5pt
FCEF *	264億円	▲250億円
研究開発投資	1,143億円	▲41億円
設備投資(有形固定資産)	754億円	▲83億円
減価償却費(有形固定資産)	680億円	▲7億円
平均為替 レート 1USDドル	108.39円	▲11.73円
レート 1ユーロ	118.82円	▲13.86円

為替除く売上高前年同期比

日本	+0.8%
米州	▲2.7%
欧州	▲4.1%
その他	▲2.8%
合計	▲1.8%

営業利益推移



* FCEF (Free Cash flow Excluding Finance business) : ファイナンス事業を除くフリーキャッシュフロー

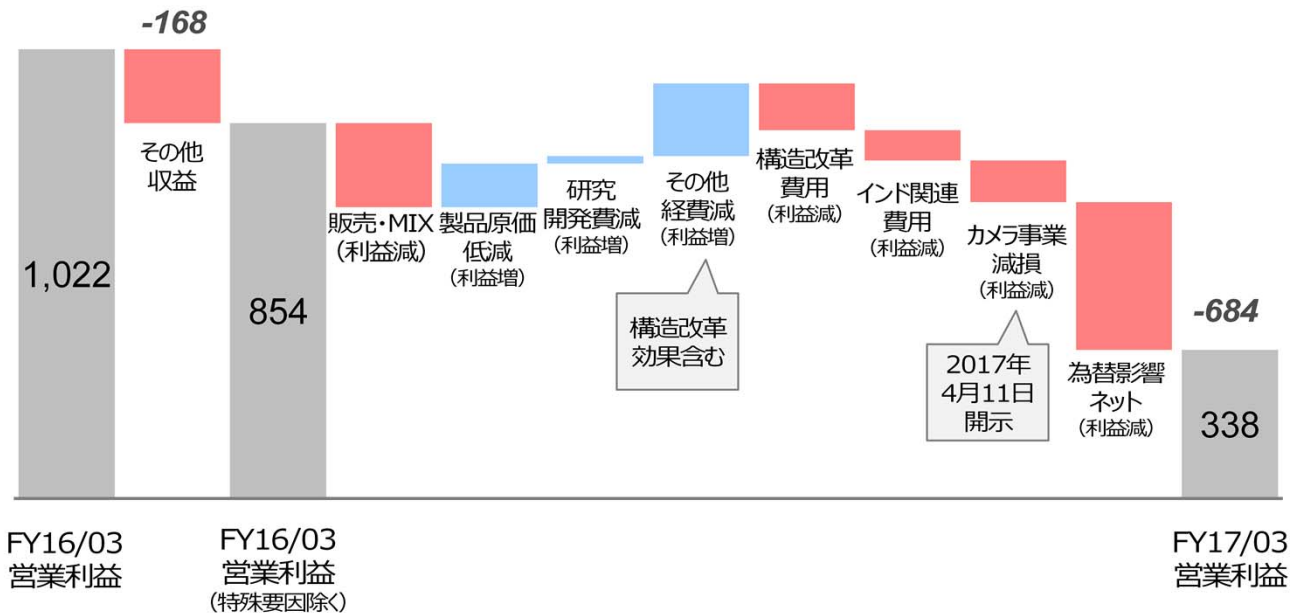
April 28, 2017

(C)2017 Ricoh Company, Ltd. All Rights Reserved

4

- 2017年3月期通期決算につきましてご説明いたします。
(P3とP4を合わせてご覧ください)
- 売上高は、2兆288億円、前年比-8.2%となりました。
成長領域の産業分野とその他分野は堅調に推移した一方、画像&ソリューション分野の減収と為替影響により減収となりました。地域別では、日本は+0.8%で増加していますが、それ以外の地域についてはMFP製品の減収影響で減収となっています。
- 営業利益は338億円、前年比-67%となりました。
4Q発生したカメラの減損費用が無ければ、148億円での着地でした。
研究開発費、設備投資、減価償却費はほぼ予定通りでした。
概ね直近の見通し通りに着地しました。
- 株主に帰属する当期利益は34億円、前年比-94%となりました。
- 4月11日に開示した見通しに対してほぼ同レベルで着地しました。

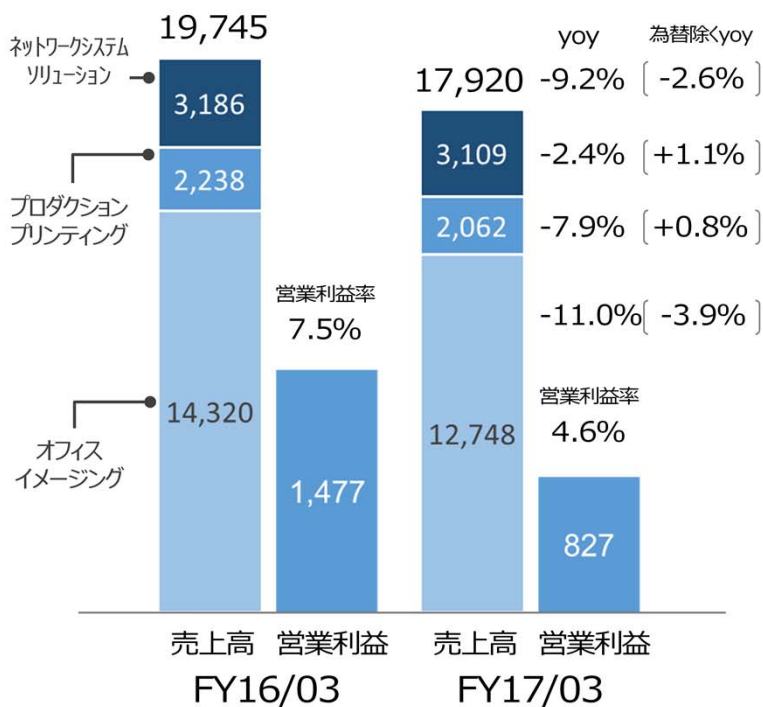
Q3時見通し	-200	+100	+20	+165	-110	-69	-	-360
実績	-192	+100	+17	+165	-106	-69	-95	-336



- 通期営業利益の前年との増減比較を示しています。
- 通期営業利益は338億円 前年比-684億円の減益となりました。
- 前年度(1,022億円)は特殊要因として資産売却益(168億円)が含まれています。それを除く前年度営業利益は854億円。そこからの主な動きを説明します。
- 販売・MIXは前年比-192億円の減少となりました。これは、MFP製品ミックスの変化、ノンハード価格下落などの影響で減少しています。但し、4Qは収益重視転換の効果などが出始めマイナス幅がやや縮小しています。
- 製品原価低減は、前年比で+100億円で予定通りに着地しました。
- 研究開発費は、前年比で同水準となりました。
- その他経費は、前年比で+165億円となりました。経費削減と先行している構造改革効果によるものですが、ほぼ予定通りです。
- 以上で、前年特殊要因を除いた営業利益からは前年比増益となります。
- これに今年度の特異要因4つを加えると前年比減益となります。
- 1つ目の構造改革費用は、106億円でした。ほぼ予定通りの支出となりました。
- 2つ目のインド関連費用は上期に計上したものです。
- 3つ目のカメラ減損費用は、4/11に開示した概算額100億円よりも少ない95億円となりました。
- 4つ目の為替影響は336億円でした。
- 為替については、4Qは想定レートより円安で推移し、若干の増益効果となりました。

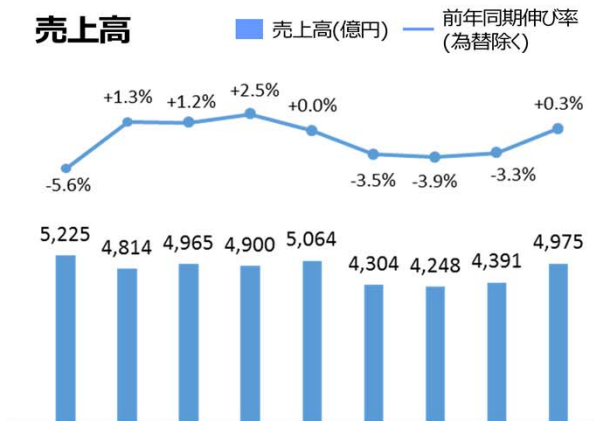
事業セグメント別 前年同期比（1）

画像&ソリューション（億円）

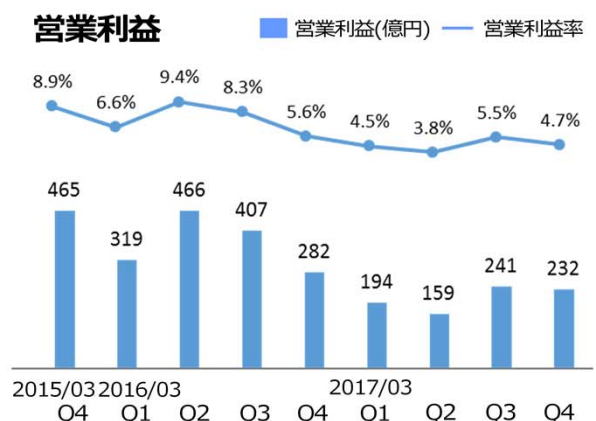


*全社・消去を除く

売上高



営業利益

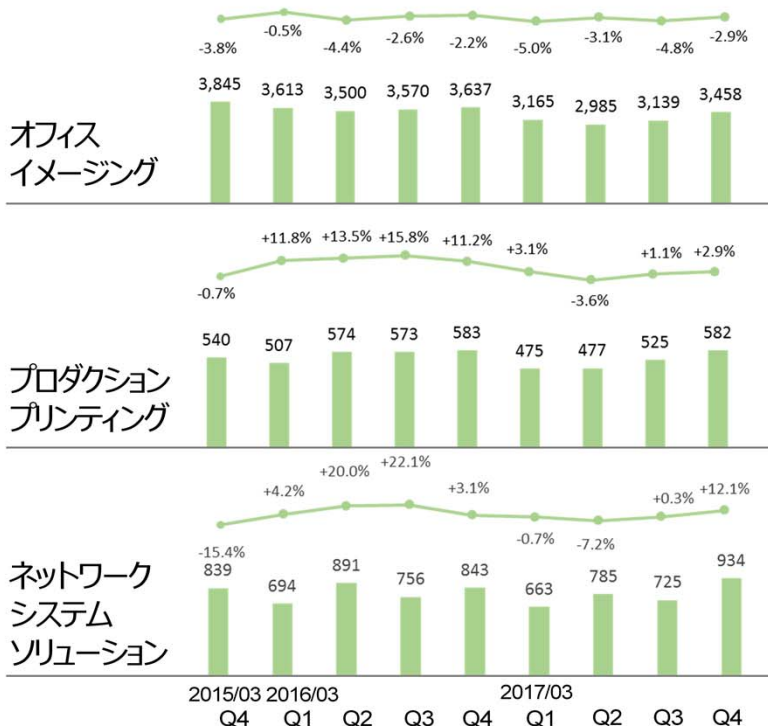


- 画像&ソリューション分野全体についてですが、プロダクションプリンティングとネットワークシステムソリューションが増収となりましたが、オフィスイメージングの減収によって、為替影響を除いても減収となりました。
- 営業利益は、827億円となりました。MFP製品ミックスの変化などが影響しています。
- オフィスイメージングの売上高は12,748億円となりました。
- MFPの地域別状況についてですが、日本は下期から収益性重視の商談展開を加速しており、台数は前年比微減となりました。海外は、米州が景況感の回復を受けてMFP台数は前年比プラスになりましたが、欧州は不透明なマクロ環境から引き続き需要が弱くMFP台数はマイナスとなりました。
- 結果、MFP全体としては台数は前年比フラットとなりました。その中で、A4機の割合は増加しており、平均単価下落による売上減少の状況は継続しています。
なお、カラーMFPは現在発売しているシリーズを中心に前年比プラスが続いています。
- ノンハード価格についてはこれまでと同じトレンドでのマイナスが継続しています。
- LP(レーザプリンタ)については収益性の低いローエンド機について戦略的に販売の絞込みを行っているため、ハードの台数・金額は伸びていませんが、ノンハード売上の減収幅は縮まってきています。
- PP(プロダクションプリンティング)の売上高は2,062億円となりました。
- 現行製品が堅調に拡大した一方で、ハード売上は16/3期に投入したカットシート機の新製品効果による反動の影響が残っており、通期では前年比フラットに留まっています。影響が一巡した4Qはハード売上が増加しています。また、PPを販売する上でお客様との接点となる、世界4極の「Customer Experience Center」開設が完了し、今後は商業印刷のワークフロー全体に対する改善提案拡大を加速していきます。

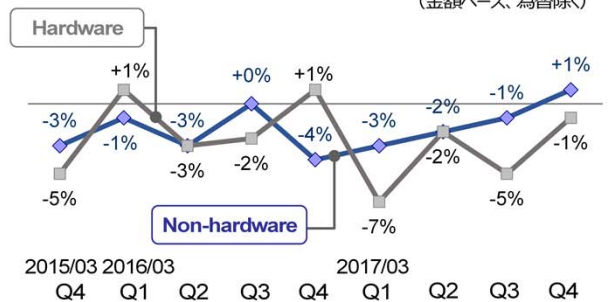


製品分野別売上高

■ 売上高(億円) ● 前年同期伸び率
(為替除く)



【MFP・プリンタ・PP計 売上高前年同期比伸び率推移】
(金額ベース、為替除く)



→詳細は巻末の「データ集」を参照

【主要製品・サービス 売上高前年同期比伸び率】
(金額ベース、為替除く)

<FY17/03 通期>

	モノクロ	カラー
MFP	-8%	-4%
LP	-3%	-0%
カットシートPP	-14%	+12%
サービス事業 (ドキュメント、ITサービス *PCハード除く)	+4%	

(前ページからの続き)

- ネットワークシステムソリューションの売上高は3,109億円となりました。
- 日本でITサービス、ビジュアルコミュニケーション製品（PJS（プロジェクト）、UCS（ユニファイド・コミュニケーションシステム）、IWB（インタラクティブ・ホワイトボード））の販売が拡大しています。海外でも、下期から増収基調に戻ったことにより、通期でも為替除いて増収となりました。

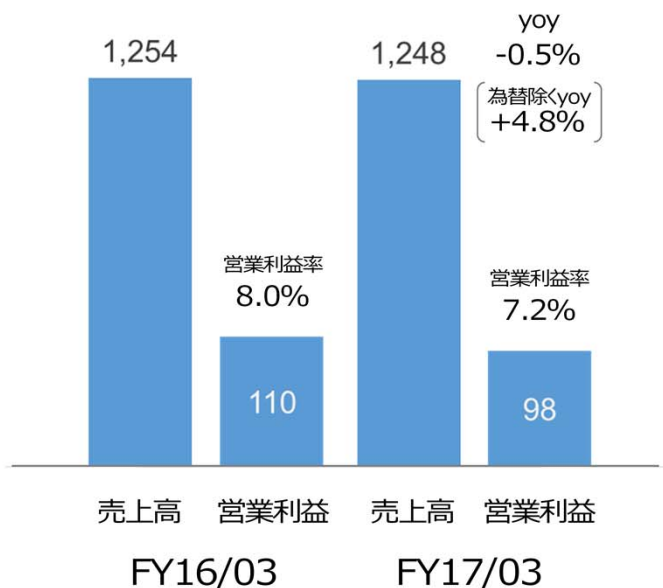
(7ページ内容)

- MFP・プリンタ・PP合計のハード、ノンハード売上高前年同期比伸び率についてですがノンハードの推移をみると減少幅は小さくなってきており、4Qではプラスに転じています。



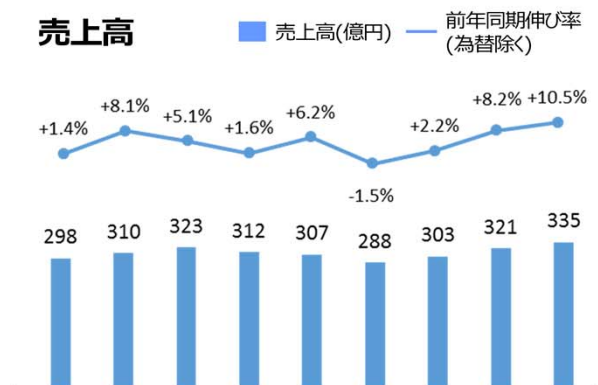
事業セグメント別 前年同期比（2）

産業 (億円)



*全社・消去を除く

売上高



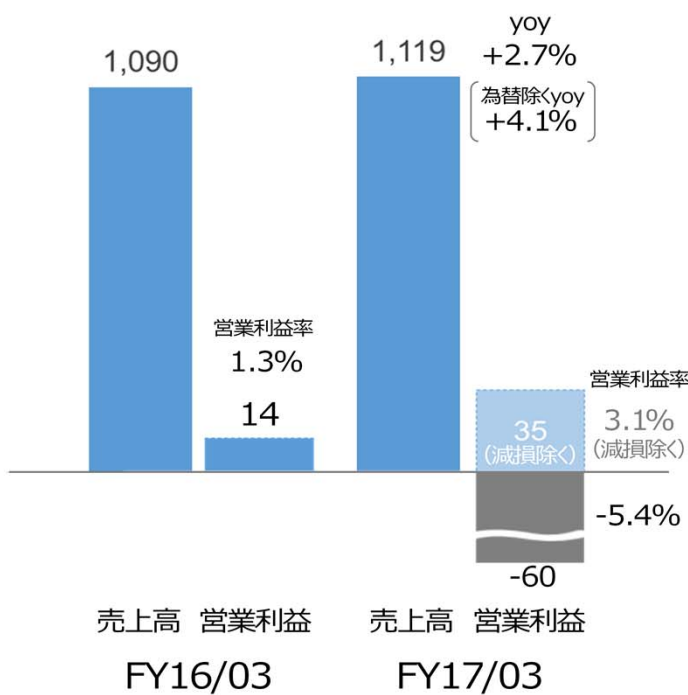
営業利益



- 産業セグメントの売上高は1,248億円となりました。内訳は、サーマル、IJ（インクジェット）、インダストリは堅調に推移し、為替影響を除くと増収となっています。
- 営業利益は98億円です。成長領域の事業強化費用の増加により、前年比減益となっています。
- 売上高、営業利益ともほぼ予定通りの着地となっています。
- 4Qは、IJが増産投資効果で増収となり、インダストリも車載向け製品などが増加しています。4月にはIJヘッド新製品、車載用ステレオカメラなどの発表も行いました。今後も、堅調な推移を期待しています。

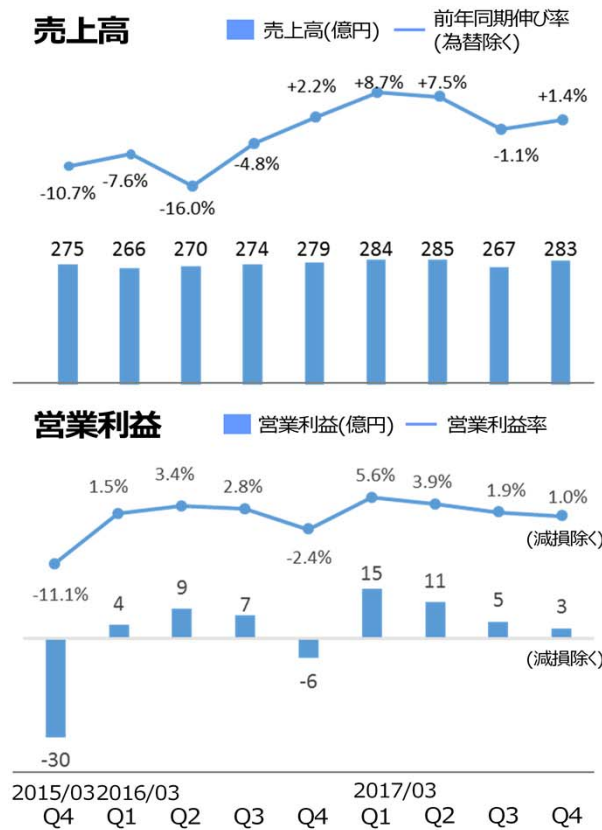
事業セグメント別 前年同期比 (3)

■ その他 (億円)



*全社・消去を除く

売上高



April 28, 2017

(C)2017 Ricoh Company, Ltd. All Rights Reserved

- その他セグメントの売上高は1,119億円となりました。ファイナンスが好調に推移したことなどにより前年比増収となっています。
カメラ事業も全地球カメラ「THETA」は売上増が続いています。
- 営業利益は60億円の赤字ですが、減損影響を除くと35億円の黒字となっています。
- 4Qはファイナンスが引き続き堅調に推移しています。

資産の部

(単位: 億円)	2017年3月末	16/03末比 増減額
流動資産	12,392	△339
現金及び預金	1,350	△334
営業債権及びその他の債権	5,663	+21
その他の金融資産	2,765	+42
棚卸資産	2,025	△45
その他の流動資産	586	△23
非流動資産	15,200	+168
有形固定資産	2,712	△52
のれん及び無形資産	3,881	△256
その他の金融資産	6,556	+354
その他の非流動資産	2,050	+123
資産合計	27,592	△171

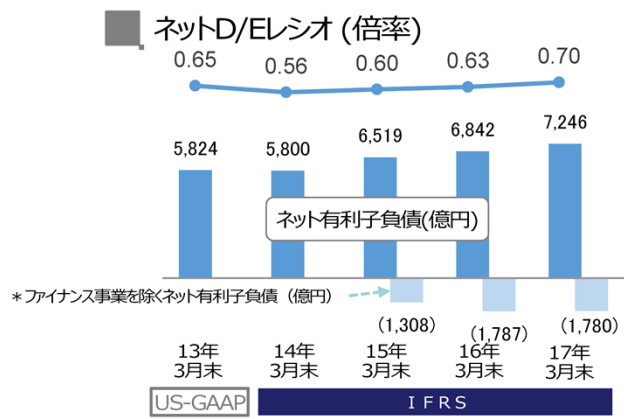
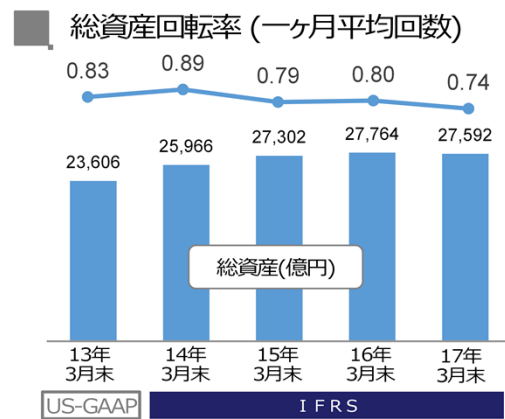
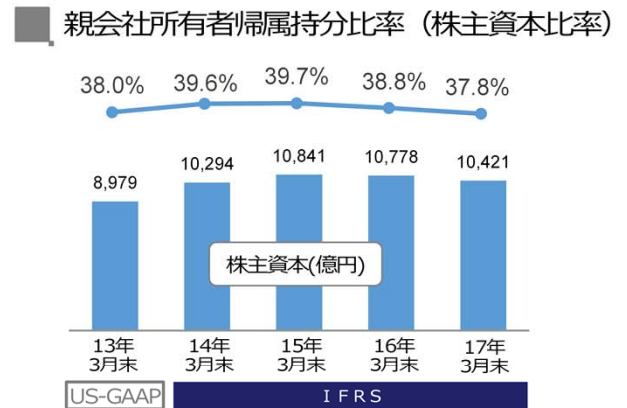
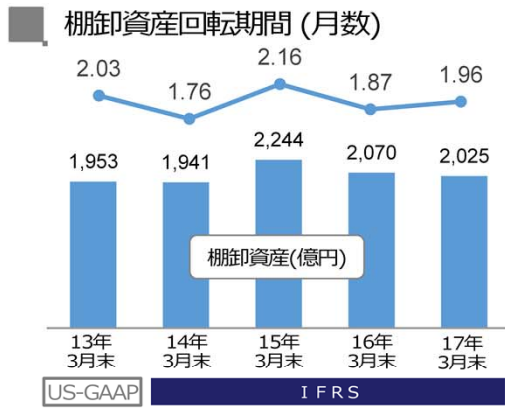
(16/03末比増減)

(参考)期末日為替レート: US\$ 1 = ¥ 112.19(- 0.49)
EURO 1 = ¥ 119.79(- 7.91)

負債及び資本合計の部

(単位: 億円)	2017年3月末	16/03末比 増減額
流動負債	8,069	+0
社債及び借入金	2,299	△308
営業債務及びその他の債務	2,957	+96
その他の流動負債	2,811	+212
非流動負債	8,354	+136
社債及び借入金	6,297	+377
退職給付に係る負債	1,207	△183
その他の非流動負債	849	△57
負債合計	16,424	+137
親会社の所有者に帰属する 持分合計	10,421	△357
非支配持分	747	+48
資本合計	11,168	△308
負債及び資本合計	27,592	△171
有利子負債合計	8,597	+69

- ファイナンス事業の拡大により、リース債権が前期末比で427億円増加しています。
- 有利子負債の増加と現預金の減少による、ネット有利子負債の増加要因は、ファイナンス事業の拡大によるものです。尚、事業としては、狙い通りの増加と認識しています。

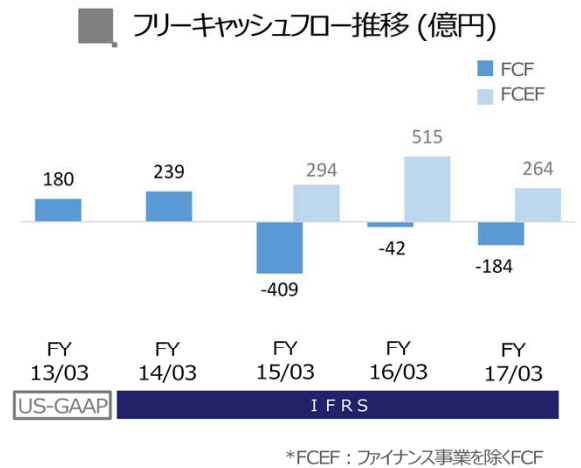


*リース取引表示方法の変更に伴い、2015年3月末の棚卸資産回転期間、総資産回転率を遡及表示しております。

● 参考情報のバランスシートの主要指標



(単位：億円)	FY2016/03	FY2017/03
当期利益	673	94
減価償却費	1,073	1,068
[当期利益+減価償却費]	[1,746]	[1,163]
その他の営業活動	-748	-280
営業活動によるキャッシュフロー	998	882
有形固定資産の購入および売却	-627	-605
事業の買収	-56	-14
その他の投資活動	-356	-447
投資活動によるキャッシュフロー	-1,041	-1,067
有利子負債の純増減	708	99
支払配当金	-250	-289
その他の財務活動	-31	-8
財務活動によるキャッシュフロー	426	-199
換算レートの変動に伴う影響額	-85	-27
現金及び現金同等物の純増減額	298	-411
現金及び現金同等物期末残高	1,675	1,264
フリーキャッシュフロー(営業C/F+投資C/F)	-42	-184
FCEF (Free cash flow excluding finance business)	515	264



- ファイナンス事業を除くFCFは+262億円となっています。
- 前年の実績に含まれる資産売却益影響（収入165億円）を除くと、実態としては前年比で大きな変化はありません。



再起動基本のプラン

過去から決別し
リコーを再起動

1

構造改革

- コスト構造改革・業務プロセス改革
- 事業の選別の徹底

2

成長事業の重点化

- 自社の強みを軸にした戦略展開

3

経営システムの強化

- 構造改革の実行・事業戦略の展開

- 4/12に山下社長から、19次中計として「リコー再起動」を説明した内容を再掲します。
- 再起動プランにおける取り組みは「構造改革」、「成長事業の重点化」、「経営システムの強化」の3つです。



- 『戦略の転換に伴い会社の収益構造を変える』視点で構造改革に取り組む

構造改革の主な施策

1. コスト構造改革・スリム化

- ものづくり自前主義の見直し
- 直販・直サービスの見直し

2. 業務プロセス改革による生産性の向上

3. 事業の選別の徹底

- 聖域を設けず、遠ざける事業の選別を徹底

1. コスト構造改革・スリム化

市場環境の変化に対応できるよう、体制変更／固定費構造の改革を行う

2. 業務プロセス改革

コスト構造改革と並行して、ゼロベースでプロセスを見直し、売上を維持しつつ生産性向上で原価・経費の圧縮を図る

- 構造改革の主な施策は「1.コスト構造改革・スリム化」、「2.業務プロセス改革」、「3.事業の選別の徹底」の3つです。

■ 構造改革

	2018年3月期 (2017年度) 見通し	2019年3月期 (2018年度) 計画 <small>*2017年4月12日公表</small>	2020年3月期 (2019年度) 計画 <small>*2017年4月12日公表</small>
2016年度比 効果創出額	390 億円	760 億円	1,000 億円
費用	450 億円	()	—

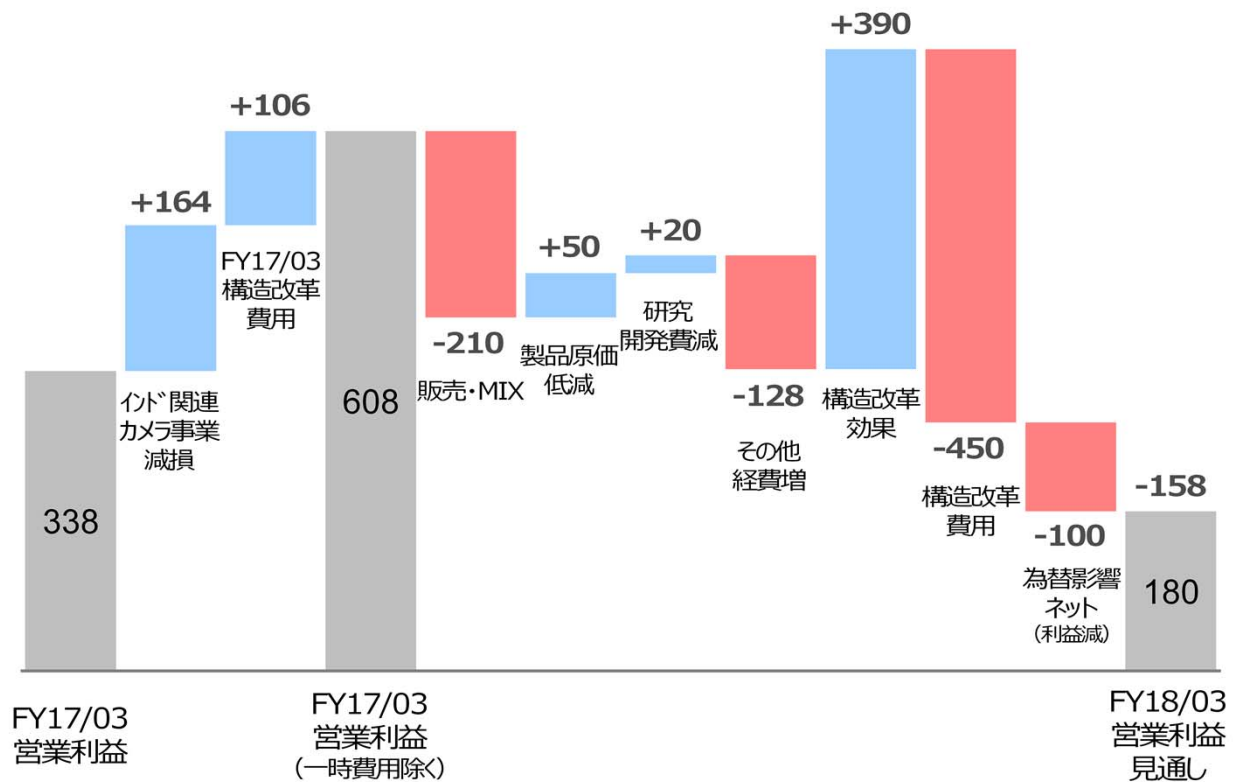
■ 第1四半期決算から、新たな事業体制に基づく開示を開始予定

- 構造改革による効果は、4/12にお示した通り、2016年度比で2019年度に1,000億円の効果創出を目指して取り組んでいきます。
- 2017年度はその費用として450億円を計上し、1,000億円を実現する施策をやりきりたいと思います。
- 2018年度は更なる効果創出のために施策・費用を計上する可能性はありますが、2019年度は費用は発生しないと見えています。
- 19次中計では新たな事業体制に基づいて事業戦略を進めていくため、今後第1四半期決算から、その新たな事業体制に基づく開示を開始予定です。



	FY18/03 通期見通し	前年同期比
売上高	20,000億円	▲1.4%
営業利益	180億円	▲46.9%
営業利益率	0.9%	▲0.8pt
当期利益 <small>(親会社の所有者に帰属)</small>	30億円	▲14.0%
EPS	4.14円	▲0.67円
ROE	0.3%	±0.0pt
研究開発投資	1,170億円	+26億円
設備投資 <small>(有形固定資産)</small>	760億円	+5億円
減価償却費 <small>(有形固定資産)</small>	660億円	▲20億円
平均為替レート	1USドル 1ユーロ	105.00円 115.00円
		▲3.39円 ▲3.82円

- 通期業績見通しをお伝えいたします。
- 売上高は20,000億円を見込みます。前年比-1.4%となります。PP、産業などの成長事業の増収を見込む一方で、オフィスイメージングの厳しい事業環境想定を継続しています。収益重視の方針で取り組んでいきます。
- 営業利益は180億円を見込みます。前年度特殊要因（減損、RID、構造改革）による戻りは見込みますが、引き続きオフィス事業での厳しい事業環境継続を見込んでいます。構造改革費用を450億円含んでおり、17年度中に主な施策をやりきる計画としています。
- 当期利益は30億円を見込みます。営業減益に伴う減益となります。
- 為替レート見通しは、USD=105円/EURO=115円を想定しています。
- 研究開発投資は開発機種見直しなどで削減する部分もありますが、成長領域には使用していきます。
- 設備投資、減価償却費については前年水準と大きくは変わりません。

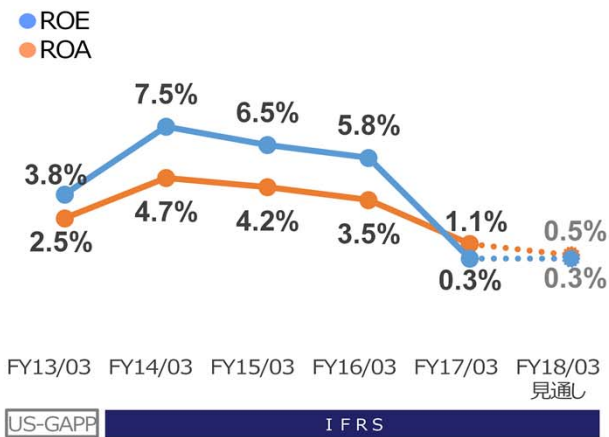


- 前ページの内容を増減チャートで示しています。
- 前年度営業利益 338億円から、一時費用を戻した608億円がスタートとなります。
- 販売・MIXはオフィス事業での厳しい事業環境継続の前提として、-210億円を見込んでいます。
- その他経費は昇給などによる増加や成長分野への投資から-128億円と見込んでいます。
- 構造改革については、施策による効果を+390億円見込む一方、費用は-450億円としています。18/03期中に構造改革施策をやりきりたいと考えています。
- 為替影響は前年度レートより円高の前提になり、-100億円となります。

19次中計 株主還元方針

当社は、企業体質の強化及び新たな事業展開のための内部留保の充実を図るとともに、株主の皆様への利益還元にあたっては、中期的な利益見通しおよび投資計画、キャッシュ・フロー、財務体質などを総合的に勘案したうえで、安定的な配当に努めます。内部留保資金につきましては、基盤事業の更なる強化と中・長期的視野に立った成長事業分野への重点的な投資に活用してまいります。

ROE/ROA* *総資産税引前利益率



一株あたり配当金 (単位: 円)



- 19次中計策定にあたって、株主還元方針の見直しを行いました。
- 引き続き予断を許さない事業環境と、構造改革を加速し、収益構造改善と新たな事業の柱の構築に注力していくことを踏まえつつ、安定的な配当の継続も考慮し、18/03期は前期下期の配当水準(7.5円/株)を維持することとし、年間配当金の見通しを15円/株とさせていただきます。



Appendix



April 28, 2017

(C)2017 Ricoh Company, Ltd. All Rights Reserved

<主なQ&A>

Q：構造改革費用・効果の計上のタイミングは？

A：費用は上期中心になると考えている。効果に関しては、昨年度実施した施策から今期得られる効果と今期実施する施策の効果を考えると、下期の方が効果額は多くなると考えている。

Q：ノンハードウェアの売上はQ4に久しぶりにプラス成長となったが、実質的にも改善していると理解してよいか？

A：改善してきていると感じられるが、結論付けるにはもう少し推移を見る必要があると考えている。

Q：増減益チャートにおいて、今期の「販売・M I X」は昨年度同様の減益見通しになっているが、どのような前提か？収益重視の販売に変えていくことなどによる改善効果は織り込まれていないのか？

A：基本的に昨年までの厳しいトレンドを前提としている。収益重視販売による改善については現時点では織り込んでいない。



■ 2017年3月期 通期

※ファイナンス事業：国内、海外で展開するファイナンス事業

①損益計算書 (単位:億円)

	連結	製品・サービス事業	ファイナンス事業
売上高	20,288	19,680	1,435
営業利益	338	20	318

②財政状態計算書

	連結	製品・サービス事業	ファイナンス事業
資産	27,592	17,854	11,475
ファイナンス事業債権	9,305	0	9,305
負債	16,424	8,194	9,966
有利子負債	8,597	719	9,062
資本合計	11,168	9,660	1,508
ネット有利子負債	7,246	Δ1,780	9,026

③キャッシュフロー計算書

	連結	製品・サービス事業	ファイナンス事業
フリーキャッシュフロー	Δ184	264	Δ448

<経営指標>

	連結	製品・サービス事業
総資本税引前利益率(ROA)	1.1%	0.0%
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)	0.3%	-1.2%
親会社所有者帰属持分比率	37.8%	54.1%
有利子負債比率(DEレシオ)	82.5%	7.5%
総資産回転率	0.74	1.07

参考情報です。一部項目に概算の情報が含まれます。


2018年3月期 (2017年度) 見通し 損益計算書
RICOH
 imagine. change.

(単位：億円)	FY2017/03 実績	FY2018/03 見通し	前年比較		
			金額差	伸び率	為替影響 除く伸び率
売上高	(国内) 7,675	7,700	+24	+0.3%	+0.3%
	(海外) 12,613	12,300	-313	-2.5%	+0.9%
	合計 20,288	20,000	-288	-1.4%	+0.7%
売上総利益	7,886	7,500	-386	-4.9%	
	(対売上高%) 38.9%	37.5%			
販売費&一般管理費	7,593	7,320	-273	-3.6%	
	(対売上高%) 37.4%	36.6%			
営業利益	338	180	-158	-46.9%	
	(対売上高%) 1.7%	0.9%			
税引前利益	299	130	-169	-56.6%	
	(対売上高%) 1.5%	0.7%			
当期利益(親会社の所有者に帰属)	34	30	-4	-14.0%	
	(対売上高%) 2.8%	0.2%			
一株当たり当期利益	4.81	4.14	-0.67		
為替レート	円/1US\$ 108.39	105.00	-3.39		
	円/1EURO 118.82	115.00	-3.82		

<投資関連>

(単位：億円)	FY17/03 実績	FY18/03 見通し
研究開発投資	1,143	1,170
売上高比率	5.6%	5.9%
設備投資	754	760
減価償却費 (有形固定資産)	680	660



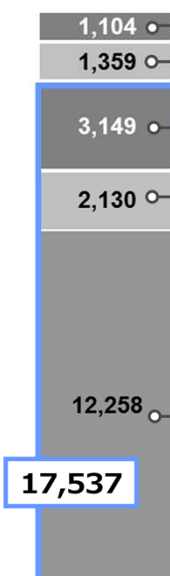
製品別売上高

対前年伸び率 (為替除く)

-1.4%(+0.7%)

20,288

20,000



- その他分野 -1.4%(-0.9%)
- 産業分野 +8.8%(+11.2%)
- ネットワークシステムソリューション +1.3%(+2.4%)
- プロダクションプリンティング +3.3%(+6.4%)
- オフィスイメージング -3.9%(-1.6%)
- 画像&ソリューション分野 -2.1%(+0.0%)

FY17/03

FY18/03
見通し

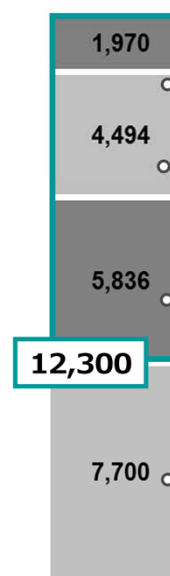
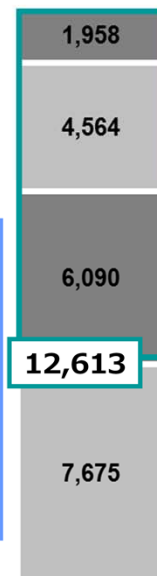
地域別売上高

対前年伸び率 (為替除く)

-1.4%(+0.7%)

20,288

20,000



- その他 +0.6%(+5.1%)
- 欧州・中東・アフリカ -1.5%(+1.7%)
- 米州 -4.2%(-1.1%)
- 海外 -2.5%(+0.9%)
- 日本 +0.3%(+0.3%)

FY17/03

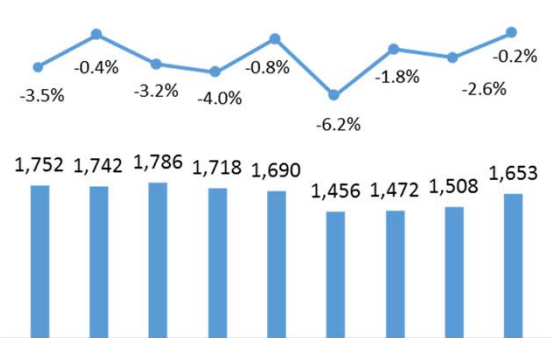
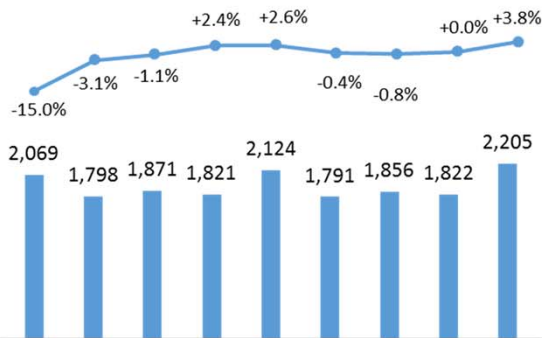
FY18/03
見通し

日本

米州

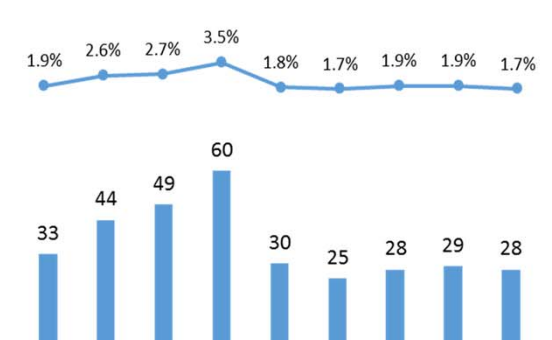
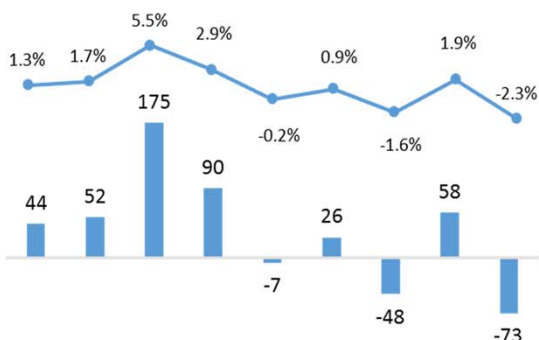
売上高

■ 売上高(億円)
● 前年同期伸び率
(為替除く)



営業利益

■ 営業利益(億円)
● 営業利益率



2015/03 Q4 2016/03 Q1 Q2 Q3 Q4 2017/03 Q1 Q2 Q3 Q4

2015/03 Q4 2016/03 Q1 Q2 Q3 Q4 2017/03 Q1 Q2 Q3 Q4

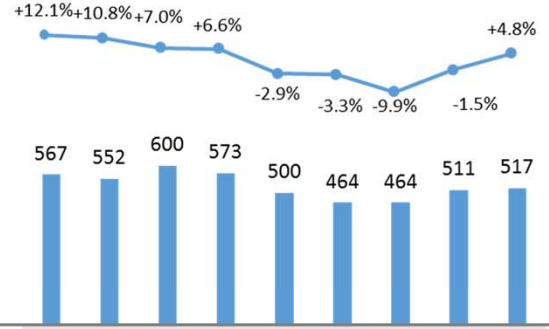
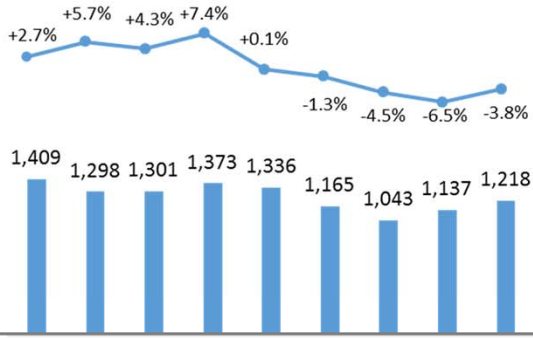


欧州・中東・アフリカ

その他

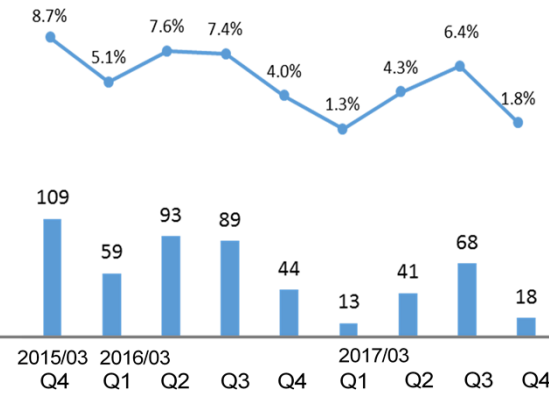
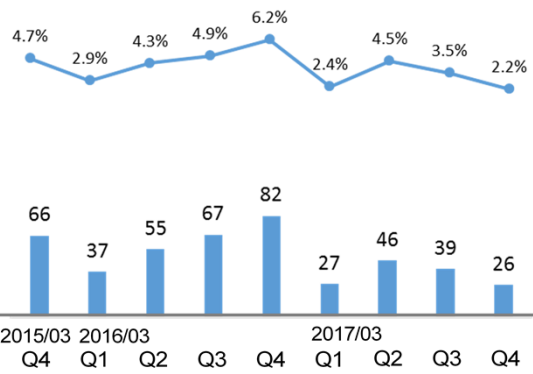
売上高

■ 売上高(億円)
● 前年同期伸び率
(為替除く)



営業利益

■ 営業利益(億円)
● 営業利益率





画像&ソリューション分野売上高 製品別構成比

*為替影響含む金額ベース比率

	FY2016/03				FY2017/03				FY16/03	FY17/03
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Total	Total
MFP	52%	48%	48%	49%	50%	47%	48%	47%	49%	48%
オフィスプリンター	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%
プロダクションプリンティング(PP)	11%	12%	11%	11%	11%	11%	12%	12%	11%	12%
オフィスイメージング他	6%	6%	8%	6%	6%	6%	6%	6%	6%	6%
サービス事業(ドキュメント・IT)	14%	15%	14%	15%	14%	15%	14%	15%	15%	15%
NSS他	9%	11%	10%	10%	10%	12%	11%	11%	10%	11%

MFP・プリンター ノンハード比率

*為替影響含む金額ベース比率

		FY2016/03				FY2017/03				FY16/03	FY17/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Total	Total
MFP	国内	67%	74%	67%	58%	68%	77%	70%	58%	66%	68%
	海外	56%	54%	55%	52%	59%	55%	57%	55%	54%	56%
	合計	59%	59%	59%	53%	61%	61%	60%	56%	57%	59%
オフィスプリンター	国内	90%	88%	88%	85%	90%	88%	89%	84%	88%	88%
	海外	69%	68%	65%	67%	67%	65%	68%	69%	68%	67%
	合計	79%	77%	76%	76%	78%	77%	79%	77%	77%	78%
PP	国内	58%	59%	60%	51%	57%	56%	56%	46%	57%	53%
	海外	58%	59%	57%	53%	59%	55%	57%	53%	57%	56%
	合計	58%	59%	57%	53%	59%	55%	57%	52%	57%	55%



MFP・プリンター総合計(オフィスイメージング+PP) 前年同期伸び率

【ハードウェア】		FY2016/03				FY2017/03				FY16/03	FY17/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Total	Total
MFP+プリンター計	国内	+4%	-7%	+2%	-2%	-2%	+2%	-1%	+6%	-1%	+2%
(オフィス+PP)	海外	+9%	+6%	+0%	-0%	-18%	-18%	-16%	-6%	+3%	-15%
	(為替除く)	+0%	-3%	-4%	+3%	-8%	-3%	-6%	-3%	-1%	-5%
	合計	+8%	+4%	+1%	-1%	-15%	-15%	-13%	-3%	+3%	-11%
	(為替除く)	+1%	-3%	-2%	+1%	-7%	-2%	-5%	-1%	-1%	-4%
【ノンハード】											
MFP+プリンター計	国内	+0%	-5%	-4%	-1%	-4%	-1%	+0%	-2%	-2%	-2%
(オフィス+PP)	海外	+6%	+5%	-2%	-8%	-13%	-18%	-12%	-0%	+0%	-11%
	(為替除く)	-1%	-2%	+2%	-4%	-2%	-2%	-2%	+3%	-1%	-1%
	合計	+4%	+2%	-2%	-7%	-10%	-13%	-8%	-1%	-1%	-8%
	(為替除く)	-1%	-3%	+0%	-4%	-3%	-2%	-1%	+1%	-1%	-1%

* オフィス向けMFP・プリンタ、カットシート・連帳PP ハードウェア・ノンハード売上高合計の伸び率 (ソリューション・他社仕入れ品販売等の売上は含まず)



MFP・プリンター(オフィスイメージング)、プロダクションプリンタ 前年同期伸び率

*金額伸び率

【ハードウェア】		FY2016/03				FY2017/03				FY 16/03	FY17/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Total	Total
MFP+プリンター計	国内	+2%	-6%	+2%	-4%	-3%	-1%	-4%	+4%	-1%	-0%
(オフィスイメージング)	海外	+6%	+2%	-5%	-4%	-20%	-19%	-16%	-7%	-0%	-15%
	(為替除く)	-2%	-6%	-9%	+0%	-10%	-3%	-6%	-4%	-4%	-6%
	合計	+5%	+1%	-4%	-4%	-16%	-16%	-14%	-4%	-1%	-12%
	(為替除く)	-1%	-6%	-7%	-1%	-9%	-3%	-6%	-2%	-4%	-5%
MFP	国内	+2%	-3%	-0%	-5%	-3%	-3%	-4%	+4%	-2%	-1%
	海外	+6%	+2%	-6%	-3%	-20%	-19%	-16%	-7%	-1%	-16%
	(為替除く)	-2%	-7%	-10%	+1%	-11%	-4%	-6%	-4%	-5%	-6%
	合計	+5%	+1%	-5%	-3%	-17%	-17%	-14%	-4%	-1%	-13%
	(為替除く)	-1%	-6%	-8%	-1%	-9%	-4%	-6%	-2%	-4%	-5%
オフィスプリンター	国内	+4%	-17%	+23%	+10%	-4%	+9%	-5%	+4%	+4%	+2%
	海外	+6%	+11%	+5%	-9%	-12%	-15%	-18%	-8%	+3%	-13%
	(為替除く)	-2%	+3%	+5%	-4%	-1%	+2%	-8%	-5%	+0%	-3%
	合計	+6%	+4%	+8%	-4%	-10%	-9%	-15%	-4%	+3%	-10%
	(為替除く)	-1%	-3%	+8%	-0%	-1%	+4%	-7%	-2%	+1%	-2%
PP *	国内	+20%	-15%	+10%	+15%	+12%	+26%	+31%	+28%	+7%	+25%
	海外	+26%	+28%	+37%	+18%	-8%	-16%	-15%	-2%	+27%	-10%
	(為替除く)	+16%	+18%	+34%	+18%	+3%	-0%	-5%	+2%	+21%	-0%
	合計	+25%	+22%	+33%	+18%	-6%	-12%	-10%	+2%	+24%	-6%
	(為替除く)	+17%	+13%	+31%	+17%	+4%	+2%	-1%	+6%	+19%	+3%

* カットシート機、連帳機のハードウェア売上高合計の伸び率(ソリューション売上等は含まず)



MFP・プリンター(オフィスイメージング)、プロダクションプリンタ 前年同期伸び率

*金額伸び率

【ノンハード】		FY2016/03				FY2017/03				FY16/03		FY17/03	
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Total	Total		
MFP+プリンター計 (オフィスイメージング)	国内	+0%	-5%	-4%	-2%	-4%	-2%	+0%	-2%	-3%	-2%		
	海外	+4%	+2%	-4%	-10%	-14%	-19%	-14%	-2%	-2%	-12%		
	(為替除く)	-2%	-4%	+1%	-5%	-4%	-4%	-3%	+1%	-3%	-3%		
	合計	+3%	-1%	-4%	-7%	-11%	-13%	-9%	-2%	-2%	-9%		
MFP	(為替除く)	-1%	-5%	-1%	-4%	-4%	-3%	-2%	+0%	-3%	-2%		
	国内	-3%	-3%	-5%	-2%	-4%	-4%	-3%	-3%	-3%	-3%		
	海外	+3%	+2%	-4%	-11%	-13%	-18%	-14%	-2%	-3%	-12%		
	(為替除く)	-3%	-5%	+1%	-6%	-3%	-2%	-4%	+1%	-3%	-2%		
オフィスプリンター	合計	+1%	+0%	-4%	-8%	-10%	-14%	-11%	-2%	-3%	-9%		
	(為替除く)	-3%	-4%	-1%	-5%	-3%	-3%	-4%	-0%	-3%	-3%		
	国内	+11%	-11%	-2%	-1%	-4%	+3%	+6%	+1%	-1%	+2%		
	海外	+8%	+4%	-5%	-4%	-22%	-25%	-9%	-0%	+1%	-14%		
PP*	(為替除く)	+2%	-1%	-3%	+2%	-12%	-11%	+2%	+4%	-0%	-5%		
	合計	+9%	-4%	-3%	-2%	-12%	-11%	-1%	+0%	-0%	-6%		
	(為替除く)	+6%	-7%	-3%	+0%	-8%	-4%	+4%	+2%	-1%	-1%		
	国内	+1%	+2%	+6%	+7%	+3%	+7%	+7%	+3%	+4%	+5%		
PP*	海外	+17%	+20%	+12%	+2%	-2%	-11%	-3%	+7%	+12%	-2%		
	(為替除く)	+7%	+11%	+11%	-2%	+9%	+6%	+8%	+11%	+7%	+9%		
	合計	+15%	+17%	+12%	+3%	-2%	-9%	-2%	+7%	+11%	-1%		
	(為替除く)	+6%	+10%	+11%	-1%	+8%	+6%	+8%	+10%	+6%	+8%		

* カットシート機、連帳機のハードウェア売上高合計の伸び率 (ソリューション売上等は含まず)



MFP・プリンター カラー比率 *ハードウェア出荷、金額ベース

		FY2016/03				FY2017/03				FY16/03	FY17/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Total	Total
MFP	国内	90%	87%	87%	84%	91%	87%	90%	86%	86%	88%
	海外	65%	64%	64%	69%	66%	63%	67%	69%	66%	66%
	合計	70%	68%	69%	73%	72%	67%	72%	74%	70%	71%
オフィスプリンター	国内	45%	42%	41%	54%	50%	50%	51%	53%	46%	51%
	海外	37%	36%	37%	37%	35%	34%	31%	31%	37%	33%
	合計	39%	37%	38%	42%	39%	38%	36%	39%	39%	38%
PP	国内	42%	32%	46%	44%	50%	43%	54%	51%	41%	50%
	海外	68%	71%	76%	77%	75%	73%	78%	76%	73%	76%
	合計	64%	67%	73%	73%	72%	69%	74%	72%	70%	72%

期末従業員数 *各期末時点 (単位: 名)

		FY14/03	FY15/03	FY16/03	FY17/03			
					Q1	Q2	Q3	Q4
日本		36,873	36,371	35,779	36,346	36,105	35,899	35,490
海外	米州	31,853	31,766	31,501	31,423	31,379	31,054	30,516
	欧州・中東・アフリカ	18,422	18,525	18,643	18,455	18,382	18,092	17,652
	中国	11,932	12,856	12,897	12,624	12,873	12,727	11,925
	アジア・パシフィック	9,115	10,433	10,541	10,499	10,412	10,178	10,030
	小計	71,322	73,580	73,582	73,001	73,046	72,051	70,123
合計		108,195	109,951	109,361	109,347	109,151	107,950	105,613



オフィスMFP 主な新製品投入状況

FY14/03

FY15/03

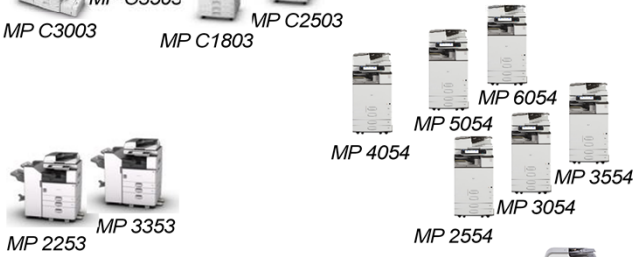
FY16/03

FY17/03

Color
MFP



Mono
MFP





















A4
MFP





プロダクションプリンティング 主な新製品投入状況

Color Continuous Form		 InfoPrint5000	 InfoPrint5000VP	 Pro VC60000	
Color Cut Sheet	Heavy			 Pro C9110	
				 Pro C9100	
	Mid	 Pro C900	 Pro C901	 Pro C7110S	
		 Pro C720		 Pro C7100S	
	Light	 Pro C751	 Pro C5110S		 Pro C5210S
		 Pro C651	 Pro C5100S		 Pro C5200S
Color Wide Format Inkjet		 MP CW2200	 Pro L4000		
		~ FY14/03	FY15/03 - FY16/03	FY17/03 ~	

RICOH
imagine. change.

<http://jp.ricoh.com/IR/>